

# 平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	農業委員会
課室名	農業委員会事務局

予算	款 項 目			決算書	
	6	1	11	158	頁

目 名	
農地制度実施円滑化事業費	

事務事業名称	
農地制度実施円滑化事業	

## 1. 概要

目的	遊休農地の実態把握と発生防止、解消対策	対象	農地所有者
事業概要	<p>○農地制度実施円滑化事業                      ・利用状況調査・・・農地パトロールにより毎年1回農地の利用状況を調査。                      遊休農地の所有者に対する指導・通知・公告・勧告までの手続きを一貫して行う。</p> <p>※ 勧告に従わなかった場合は、協議                      ※ 協議不調・協議できない場合は、県知事による調停</p>		

臨/経	事業名	事業内容（主な経費等）	予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
經常	農地制度実施円滑化事業	遊休農地105ha 意向調査31ha(182名) 報償費	2,938	2,868	2,846			22	3
計			2,938	2,868	2,846	0	0	22	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	農地の荒廃防止		目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画/後期基本計画において、基本施策(4-1-1)の目標としているため			
活動指標	指標	a	現地調査	b	遊休農地の把握	c	遊休農地の指導・解消	d	
	数値	目標	3,579ha	目標	—	目標	3ha	目標	

## 3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
農地の荒廃防止		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 現地調査	ha			3,579 ha 100 %
b 遊休農地の把握	ha			105 ha 2.9 %
c 遊休農地の指導・解消	ha			0 ha —
d				

## 4. 課題と対応

課題
高齢化、後継者不足、不在地主の増加により、遊休農地が年々増加の傾向にある
対応（改善点等）
農地に復元して利用してくれる、認定農業者・集落法人・新規就農者及び企業参入等を推進する

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

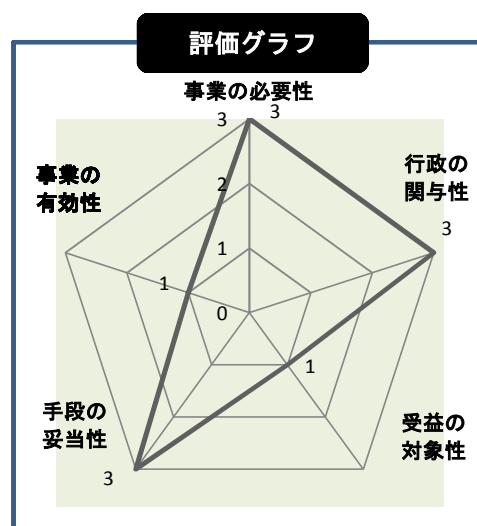
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費				2,868	1,962
財源内訳	国費				1,900
	県費			2,846	
	市債				
	その他				
	一般財源			22	62
うち経常				22	62
事業費に係る人件費				4,818	4,730

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
同様のやり方で事業に取り組むため

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 法令業務
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、農業委員会が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 農地所有者に限られるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 平成22年度は調査までであり、平成23年度から解消に向けて取り組むため



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	後継者不足等の課題に対応するとともに効果的取組に努めること